



平成23年度 要求総額

26,602 百万円(対前年度比 +11.8%)

教育委員会

要求の基本的考え方

子どもの教育に関する方向性を示す「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」における基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」の下で、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、「子どもの教育」への市民参画を進めていく。

生涯学習・芸術文化の分野では、「まちづくりを支える人材の育成」や「生活に根づき誇れる文化の振興」を目指すとともに、新たに「生涯学習推進計画」を策定し、その取り組みの充実を図る。

「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げられた学校図書館の本格的整備など教育関連の政策課題への対応に必要な取り組みや効果的な実施方法などを速やかに検討し、諸施策の着手、実行を図る。



思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

① 学校図書館図書整備充実事業

25 百万円【学事課】

② 部活動サポート事業

15 百万円【指導第二課】など



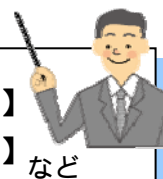
学校・教職員の力を高める

① 校務支援システム導入運用事業

145 百万円【学事課】

② 学校図書館空調設備整備事業

153 百万円【施設課】など



家庭の教育力を高める

① 「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」推進事業

10 百万円【生涯学習課】



地域の教育力を高める

① 学習支援型アフタースクール事業

4 百万円【生涯学習課】

② 未来をひらく学校づくり支援事業（学校における読書活動推進モデル事業）

35 百万円【指導第一課】など

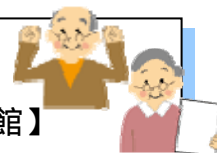


生涯学習及び芸術・文化の充実

① 開館10周年記念みちの郷土史料館展示物等リニューアル事業

19 百万円【木屋瀬宿記念館】

② 「はやぶさ」帰還カプセル等特別展示 4 百万円【自然史・歴史博物館】など



校務支援システム導入運用事業

教員の子どもと向き合う時間を確保するため、校務事務の省力化、効率化や校務情報データの共有化による総合的な「校務支援システム」を導入する。

【主な見直し項目】

博物館企画展・特別展開催事業

自然史・歴史博物館における特別展開催経費に、「芸術文化振興基金」や「海と船の企画展支援事業」の補助金を活用することにより、自主財源の拡充を図る。